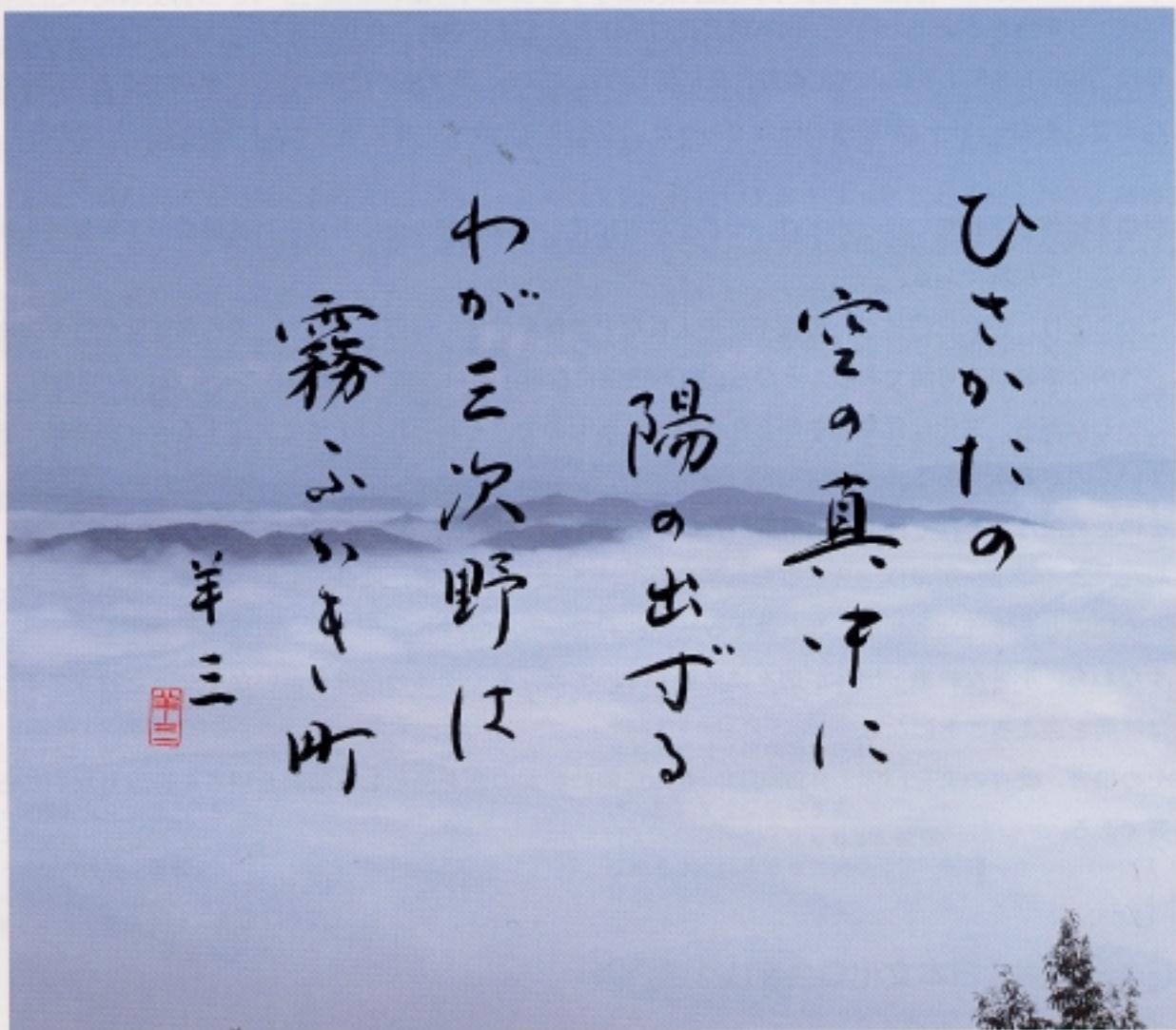


ひろしまの文化



第19号 広島県文化団体連合会

明日への 飛躍のために



広島県文化団体連合会
会長 平井 隆夫

県文連の課題

平成13年度理事会において、国利前会長の後任として選任され、今日に至る。

私は、平成12年より福山文化連盟会長に任命されて以来、県文連の行事・会合に参加するようになり、これまで、その一つ一つが勉強の機会であった。その中で、まず一番に感じた点に触れることにする。

現加入団体の事務局のほとんどは、それぞれ自治体の行政機関の中にあり、行政機関が事務部門を担当しているのが現状である。

このことは、各文化団体が、資金不足や人員などの組織構成に起因しており、事務局運営や行事実施等で主体的な活動が不可能であることから、行政機関に指導・財政的負担を委ねざるをえないものである。

しかしながら、文化は民衆の中から生まれてくるもので、それぞれの土地に生活する人々が発起・展開していくのが基本である。

そのためには、それぞれの活動組織が人員・活動資金の面から、大きくならなくてはならない。

現在、各地域事務所単位で共同事業を開催しているが、同じ分野で活動している団体・組織を統合し、一つの組織として成立させることも考える必要があるのではないか。

すなわち、小さな組織・団体が個々に活動していては、その団体の指導者がいなくなった時点でその活動は終局を迎えることになる。

その場合、既存の文化団体が体制化し、その活動に参加の意を提示した活動希望者を排除しないことが必要である。

第30回全日本文化集会富山大会

平成13年9月29日（土）から10月1日（日）にかけ、第30回全日本文化集会富山大会に參加した。

開催趣旨は、『21世紀の勢頭にあたり、芸術文化を「世代間に」如何に継承していくか、また「国際的に」如何に広げていくかについて、芸術文化人が共通の認識を持ち、21世紀に望まれる芸術文化活動の方向を模索することを目的に開催する。』と述べられている。

会場は、富山市から立山連峰に向う直線距離24キロメートル、標高900メートルに近い山中にある利賀村である。そこには、富山県が芸術公園を造り、合掌文化公園として合掌造りの家を移転し、それを劇場としている。その他にも多くの文化施設をもって形成されている。また、江戸時代は前田藩の「トガ人」即ち刑罰人を流していた地であったと説明された。それを上手に文化的目的に転用する考え方は立派であると感じた。

第1日目の分科会は、三つに分かれて行われた。私は第2分科会で「芸術文化の国際交流」に参加し、芸術文化の国際交流について、活動の輪をいかにして空間的に広げていくか、また、その交流によってどのような効果が生まれてきているかについて、事例を基に討論された。

続いて、舞台劇「燃える風」という舞台公演を鑑賞した。その演出で一驚したことがある。それは、出演者が洋舞・日本舞踊・胡弓・十七弦・箏・尺八の総合劇であったことである。それを見てつくづく感じたことは、私が現代まで見てきた文化行事は、日本の文化、外国の文化がはっきりと区別されて上演実施されている。しかし、国・民俗・言語・風俗・習慣は異なっても、人間世界は文化を通じて交流すれば人間としての共通の感情・感覚を生むことができることを、今回の大会で実感した。

現在、民族間の大きな戦が地球上に次々と発生している。しかし、文化を通じて人間同士交流すれば、今後世界に平和を招来できることを痛感した。

文化こそ世界平和の大いなる推進役であるべきと、今更ではあるがそのことを我々も自覚すべきであると提言する。

—もくじ—

明日への飛躍のために	1	後援事業一覧	8
広島県文化団体連合会 会長 平井隆夫		平成13年度理事会開催	9
第2回文化講演会	3	広島県地域文化功労者表彰	9
市町村だより	4	文化研究会等講師招へい事業	9
・向島町文化協会		けんみん文化祭協賛事業	9
・筒賀村文化協会		けんみん文化祭・2001の開催	10
・海田町民文化振興会		広島県文化団体連合会構成団体一覧表	11
・福山文化連盟		役員一覧表	11
第16回広島県歌謡大会	8	編集後記	11

表表紙…【短歌】山田羊三副会長による
【写真】霧の海（三次市）
題字…故仁井岡武司元会長の揮毫

第21回文化講演会

日 時 平成13年11月17日（土）午後1時開演
場 所 しまなみ交流館（テアトロシェルネ）
講 師 妹尾河童（舞台美術家・エッセイスト）
演 題 「200枚のスライド映写による河童が語る舞台裏おもて」

広島県文化団体連合会の主催による文化講演会は、今年度で第21回目を迎えました。

21世紀最初の文化講演会となる今回は、「けんみん文化祭・2001 演劇祭」と共催し、日本有数の舞台美術家である妹尾河童さんを講師にお迎えしました。

当日は、幸い天候にも恵まれ、開場前から並ぶ人も出るなど、600人近い観客でホールは埋められました。

妹尾河童さんは、小説『少年H』やエッセイ『河童が語る～』シリーズの作者として高名ですが、演劇やミュージカルなどの舞台美術が本職ということで、その豊富な経験を親しみのある語り口でお話をされました。

講演は、舞台に設置された縦5メートル、横10メートルの大スクリーンに、これまで河童さんが携わられた話題作の演劇やミュージカル20数作品、200枚のスライドを投影しながら、それに合わせて語る“ビジュアル・トーク”形式で行われました。言葉で語るだけでは伝わらないことが、映像と一緒にすることで、舞台裏の秘密が次々と明らかにされていくという仕掛けは、内容が舞台の専門家にも参考になるほど高度なものでありながら、一般の方にも大変わかり易く、興味深いということで大変好評でした。また、舞台美術のエピソードに加えて、同じく舞台にかかわられている息子さんと一緒に仕事をされた時のことなどプライベートにも触れられ、河童さんの素顔が垣間見える大変楽しい講演会でした。

講演会が終了したときには、万雷の拍手とともに、ファンの女性からの花束の贈呈もあり、河童さんも

【講師プロフィール】

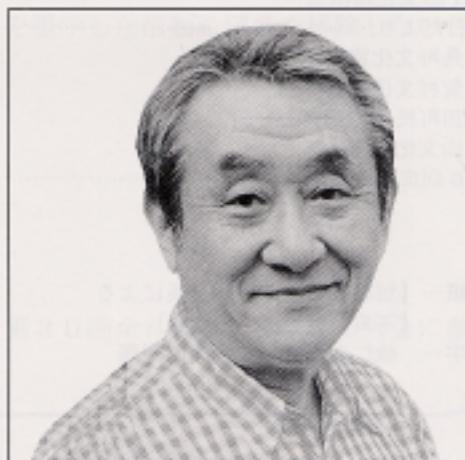
1930年、神戸生まれ。現代日本を代表する舞台美術家。『紀伊国屋演劇賞』『サントリー音楽賞』『芸術祭演劇賞』『読売演劇大賞』ほか多数を受賞。また、エッセイストとしても知られ、ユニークな細密イラスト入りの著書『河童が覗いた～』シリーズの『ヨーロッパ』『ニッポン』『インド』など、お馴染みのロングセラーに加え、近著の小説『少年H』は、275万部を突破する驚異的ベストセラーとして話題を集め、『毎日出版文化賞・特別賞』などを受賞している。

大変お喜びだったのが印象的でした。

「けんみん文化祭・2001 演劇祭」を含めた総観客数は、1,560人にも及び、文化の秋にふさわしい1日になったと思います。

最後になりましたが、開催するにあたって、多くのご協力を賜りました関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。

尾道市文化協会 会長 入船裕二



講師：妹尾河童さん

市町村だより

向島町文化協会の活動

向島町文化協会 会長 藤田宣昭

向島町文化協会の設立は、昭和56年(1982年)で、現在8部(芸能・文芸・音楽・華道・茶道・美術・生活・懇話)の自主活動と協会主催事業(観月会・総合文化祭・研修旅行)と共に、協賛事業が主な活動内容です。その中でも、文化講演会について紹介します。

お互いの教養を高め文化活動の振興を目指して、向島町教育委員会の講座と共に、年2回文化講演会を開催しています。県文連の文化研究会等講師招へい助成事業を活用し、助成を受けております。

この文化講演会を通して、様々な経験や体験を持ち、見識ある人の話に感動し、そこから知識を得ることができます。そして、その知識を人生の教訓にしていくことによって生活が豊かになっていくのだと思います。今後も文化講演会を開催するにあたり、文化の潤いを益々充実させたいものだと思っております。

平成13年度は、第1回目の講師に石井牧子さんをお招きしました。「自分らしく生きる一秒の重さ」をテーマに、「アナウンサーの経験、母との体験などを通じて、1秒の積み重ねが私達の一生・人生である。その時間を悔いなく実りあるものにしたい。」と御講演いただきました。

第2回目の講師は柴野京子さんでした。「ヘルスケアセミナー」と題し、リラックスのための呼吸、美しい姿勢のストレッチ、美しい歩き方など実技指導を中心に聴衆と一緒に、表現の楽しさ、心地よさを味わうためのコツを伝授していただきました。

話を聞く、それは様々な知識を見につけ、人間を育て考え方を養うものです。向島町文化協会の活性化だけに留まらず、町の活性化にもつながるよう一層の努力をしていきたいと思っています。



講師：石井牧子さん



講師：柴野京子さん（左）

筒賀村文化協会の活動

筒賀村文化協会 会長 上玉俊明

筒賀村文化協会は、現在18団体145名で構成し、各種団体・サークルが個々に活動しています。

本協会の主な活動として、年1回開催している村の芸能発表会「地域文化活動発表会」や、「けんみん文化祭・山県地区大会」への出場、そして「筒賀村文化講演会」があります。特にこの文化講演会は、1982年（昭和57年）から始まり今回で20回を数え、今では筒賀村の年中行事の1つと言っても過言ではありません。この20回目という節目の講師に歌手「橋 幸夫」さんをお迎えしました。橋さんは、「母親の介護から教えられたこと」と題して、途中に芸能界でのエピソードなどを交えながら、老人性痴呆症となった実母の介護の体験談を中心に、講演されました。高齢化が進んでいる筒賀村にとって、老人医療・介護問題など他人事では済まされない内容でした。

この文化講演会は「小さな村であり、有名著名人と日頃から接する機会がない」などの理由からスタートしましたが、現在のように情報化社会となってくると地域のニーズも多様化し、講師の選考も大きく変化しました。現在ではこの文化講演会も「生涯学習の一環」として捉えられるものへと方向を転換してきたように感じます。その表れかもしれませんのが、村内だけではなく村外から多くの方が来られるようになりました。

毎回、平均500人近くの方が入場するということで準備が大変ですが、筒賀村の文化振興のためにこれからも活動を充実させていきたいと思います。



第20回 筒賀村文化講演会

●入場無料



母親の介護から教えられたこと
〔新刊『別れなかつた理由』より〕

講師 橋 幸夫 さん

とき 8月30日(木)19:30-21:00
ところ 筒賀中学校体育館
主催 筒賀村教育委員会・筒賀村文化協会

筒賀村文化講演会は、毎年8月に開催されています。今年は20回目の開催となりました。講師には、歌手として活躍する橋幸夫さんが登壇されました。彼は、自身の経験から「母親の介護から教えてもらったこと」と題して、多くの人々に感動的な話を語りました。また、彼の新刊『別れなかつた理由』からの一部も紹介されました。会場は筒賀中学校の体育館で、約500人の観客が来場しました。講演会は、地域の文化振興や生涯学習の一環として重要な役割を果たしています。

海田町民文化振興会の活動

海田町民文化振興会

会長 棚 哲文

我が海田町民文化振興会（愛称『マール』：スペイン語で海）は、「豊かな心とぬくもりのあるまちづくり」&「海田町を日本一の文化の町に」という、とてつもないスローガンを合言葉に平成6年に結成されました。

会員は、「まちの文化振興」に関心を持っている人なら誰でも入会でき、現在「自分たちの町の文化は住民自らが創り上げていくのだ」という熱い思いを持った会員で活動しています。

活動は、会員（あるいは住民）の「夢」を皆で共有し実現することを基本に実施しています。

たとえば、平成7年1月ごろ、若い会員の「今年は平成7年7月7日7時7分7秒…7が並ぶ年、人がたくさん集まってカウントダウンしたら面白いね」というつぶやきから、「若い人がたくさん集まる場にしよう」「それではロックコンサートにしよう」「若い人だけではなく、7月7日なので、今廃れつつある“七夕”をテーマにしてみんなが楽しめるものにしよう」「地域に根ざした新しい“まつり”になったらいいね」というように夢が膨らんで、「七夕フェスティバル イン かいた」が誕生しました。このフェスティバルも年々盛大になり、今では約4千人の人々が楽しむまつりになっています。

この他、文化講演会、ふるさと再発見ウォークラリー、まちづくりボランティア養成講座、コンサート、映画会など実施しています。

これからも町の文化振興の火付け役として、楽しく活動していきたいと思っています。



福山文化連盟の活動

福山文化連盟 会長 平井隆夫

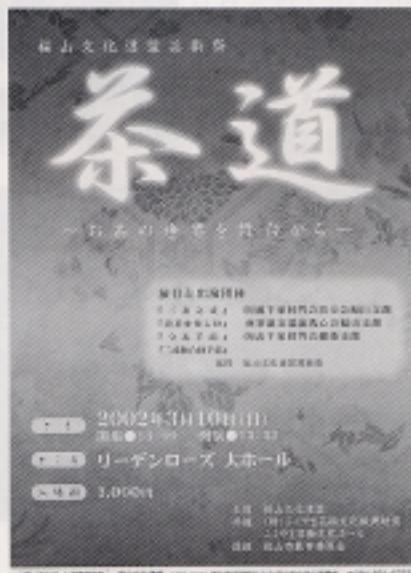
平成12年、福山文化連盟は創立50周年を迎え、記念誌を発刊しました。

福山文化連盟は、戦災による破壊と混乱の中から数名の心ある人々によって設立されました。発足以来文化活動に対する市民の声は高く文化の拠点として発信され、現在では17部223団体の組織となりました。それぞれが異なった個性を持つあらゆる部門の総合団体です。

主な事業を一部ご紹介します。

- 福山総合文化祭は11月3日文化の日を中心として、市民会館の全館を利用して文連各部の総合的な発表会を開催していました。現在は「福山音楽コンクール」「近県演劇コンクール」「福山美術協会公募展」「松永地区美術展」「福山北部美術協会展」「芸能大会」「いけばな展」「能楽大会」の8事業を総括し『総合文化祭』として開催しています。
- 福山ばら祭協賛行事として、福山ばら祭文化祭を開催しています。内容は、ばら祭美術展・能楽大会・カラオケ大会・文芸作品募集・市民茶会・芸能大会などです。
- 大きな行事として福山文化連盟芸術祭があります。平成13年度は、裏千家・煎茶道・表千家3流派が舞台の上で競演する「茶会」～お茶の世界を舞台から～を開催しました。毎年『芸術祭』の名前にふさわしい魅力ある公演を目指し精進を重ね、地域文化の発展に努力したいと思います。
- 1979年(昭和54年)1月21日、福山市と浦項市との友好都市締結調印式が行われました。それ以来、韓国芸術文化団体総連合会浦項支部(辛相律会長)と福山文化連盟の文化交流を中心とした交流事業が行われています。「文連芸術展」開催には、国際文化交流として、部門別に絵画・書道・写真・水墨画を招請しています。

変動していく社会環境では、より文化活動の大切さが再認識されると思います。新しい世紀に向って伝統であれ前衛であれ表現されるものを素直に感動し、それを十分に味わい心を豊かにする文化活動の推進発展を図り、文化の誇う様に努めたいと思います。



第16回広島県歌謡大会

平成14年3月24日(日)午前10時から、東広島市中央公民館大ホールにおいて、広島県文化団体連合会主催、東広島市文化協会主管による第16回広島県歌謡大会の決勝大会を開催しました。

決勝大会に先立ち、次のとおり予選大会を開きました。

坂会場	平成13年9月23日(日) 坂町町民センター
川尻会場	平成13年9月30日(日) 川尻町総合文化センター
甲田会場	平成13年10月7日(日) 甲田町若者定住センター「ミューズ」
上下会場	平成13年11月4日(日) 上下町民会館
大野会場	平成13年12月9日(日) 大野町福祉保健センター

予選大会参加者は、580名で、どの会場も盛会でした。

決勝大会には、予選大会を通過した一般の部(60歳未満)107名、シニアの部(60歳代)51名、グランドシニアの部(70歳代)14名、スペシャルグランドシニアの部(80歳以上)8名、合計180名の方が出場され、自慢ののどを披露してくださいました。



予選大会スペシャルグランドシニアの部



予選大会 一般の部

平成13年度後援事業

事 楽 名	開 催 期 間	主 催 者
1 2001年度広島文化デザイン会議	平成13年10月3日(水)~14日(日)	広島文化デザイン会議実行委員会
2 第20回記念東広島市芸術祭	平成13年6月8日(金)~10日(日)	東広島市芸術祭実行委員会、東広島市文化協会
3 第56回広島県青年大会	平成13年8月26日(日)	広島県青年連合会
4 第34回中国幼年日美術夏季大学	平成13年8月24日(金)~25日(土)	中国幼年美術の会
5 ひろしま県民文化フォーラム・ひがしひろしま	平成13年10月18日(木)	財團法人広島文化振興基金
6 第3回秋美展	平成13年9月11日(火)~23日(金) 平成13年9月25日(火)~10月7日(金)	あきふらちゅう文化協会
7 第37回一生流いけばな展	平成14年1月26日(土)~27日(日)	一生流竹原支部
8 第20回大竹児童・生徒書きぞめ大会	平成14年1月20日(土)	大竹市文化協会
9 一生流いけばな展	平成14年2月24日(土)~25日(日)	華道一生流竹原支部

平成13年度理事会開催

期日 平成13年6月21日(木)

場所 広島県立総合体育馆

平成13年度広島県文化団体連合会理事会が、平成13年6月21日(木)に広島県立総合体育馆において開催されました。国利会長、吉村広島県環境生活部管理総室長のあいさつ後、議事にはいりました。

- 1 平成12年度事業実施報告及び決算報告
- 2 平成13年度事業計画(案)及び予算(案)については異議なく承認されました。
- 3 平成13年6月23日で2年の任期を迎えるため、役員改選を行いました。
常任理事4名で選考委員会を設置し、選考委員会で選出され役員候補者が承認され、新役員が誕生しました。(P11に記載)
- 4 その他として、全日本文化団体連合会の社団法人化について、報告がありました。

広島県地域文化功労者表彰

平成14年3月、地域において長年にわたり地道な活動を通じて功労があった団体や個人を表彰する、平成13年度「広島県地域文化功労者表彰」が行われ、次の方が受賞されました。

団体の部

広島ジュニアオリンピッククラブ(会長 日山 正光)

個人の部

近藤 たいわ(筏津芸術村村長)
藤恵 乾吾(広島県写真連盟副会長)
小林 健一郎(宮島細工工芸作家)

文化研究会等講師招へい事業

平成14年度文化研究会等講師招へい事業に対し、助成金の交付を行います。

この度、新たに助成金交付要綱を定めました。

この事業を積極的に活用し、一層地域文化の振興に努めてくださるようお願いします。

広島県文化団体連合会事務局

TEL:082-222-3774

けんみん文化祭協賛事業

県民文化祭実行委員会は、けんみん文化祭の趣旨に賛同し、文化芸術活動の振興に寄与することを目的として行う文化的イベントを協賛事業として募集しています。

申請を希望される団体、又は、詳しい内容が知りたい場合は、次へ問い合わせください。

県民文化祭実行委員会事務局

TEL:082-222-3774

けんみん文化祭・2001の開催

(1) 総合フェスティバル

開催期日 平成13年11月25日(日)
開催会場 アステールプラザ大ホール(広島市)

(2) 分野別フェスティバル

分野名等	最優秀団体	優秀団体	
開会式・合唱の祭典 9月 9日(日) 三原リージョンプラザ(三原市)	広島女声合唱団(広島市)	尾道市民合唱団(尾道市) 尾道フレウェンコール(尾道市) さわやかコーラス(大竹市) 庄原コール・ソレイユ(庄原市) コーロ・ぼこあぽこ(広島市)	
洋楽の祭典 9月23日(日) 東広島市中央公民館(東広島市)	鈴峯女子中・高等学校(広島市)	安西小学校吹奏楽団(広島市) 高畠中学校吹奏楽団(東広島市) 廿日市吹奏楽クラブ(廿日市市) 坂マンドリンクラブ(坂町)	
民謡民謡の祭典 10月14日(日) 甲田町若者定住センター(甲田町)	宍戸一門みすみ会(神辺町)	貴・音戸の舟唄愛好会(呉市) 民謡もみじ会(広島市) 広島県民踊協会可部公民館民謡同好会(広島市) 本郷流民謡きぎなみ会(福山市)	
奇術・落語の祭典 10月14日(日) 船座(上下町)	審査なし	審査なし	
民俗芸能の祭典 10月14日(日) 加計町民体育館(加計町)	和太鼓 上下町立矢野小学校(上下町)	和太鼓隊(広島市) 能美島さつき太鼓(能美町) せらにし飛龍太鼓(世羅西町)	
	錦太鼓 宮板流津山錦太鼓保存会高屋支部(東広島市)	香草かおり会(加計町) 山川流高杉会(連合)(三次市) 山川流高杉会(連合)(新野町)	
吟詠劇詩舞道祭 10月21日(日) 田園バッツオ(高富町)	玉翠流翠漢全東広島支部(東広島市)	正氣流剣詩舞剣城会(向原町) 大竹市文化協会吟詠詩舞道部(大竹市) 剣詩舞道観心会(向原町教室)(向原町)	
邦楽・日本舞踊の祭典 11月 4日(日) 界民文化センターふくやま(福山市)	邦楽 春海会(広島市)	速山会(戸河内町) 貴三曲会(呉市) 邦楽グループ“KAMO”(東広島市) 邦楽グループトレモロ(向島町)	
	舞踊 加島会(福山市)	山村寄美代会(黒瀬町) 甲田町日舞教室(甲田町)	
演劇祭 11月17日(土) 13:00~20:00 しまなみ交流館(尾道市)	審査なし	審査なし	
大正琴・芸能の祭典 11月18日(日) 大和町町民文化センター(大和町)	大正琴 大正琴城流(福山市)	琴城流大正琴振興会備北支部(三次市) 板橋浜大正琴さざなみ会(坂町) ザ・リーダーズ(広島市)	
	芸能 神田舞踊クラブ(大和町)	大竹市文化協会民舞部花柳尚梨舞社中(大竹市) ダンスマ☆ムミュージックダンスクラブ(黄賀村)	
洋舞フェスティバル 12月16日(日) 呉市文化ホール(呉市)	芦川瑞枝バレエ研究所(呉市)	魂いつ子バレエスタジオ(広島市) D.D.K. dance create(広島市)	

部 門	応募者数	表彰者数			
文	短歌大会 10月21日(日) 三次市福祉保健センター(三次市)	一般 469人 小中高 996人	特選 8人	入選	42人
			特選 8人	入選	42人
芸	俳句大会 10月21日(日) 福山市中央公民館(福山市)	一般 581人 小中高 2,350人	特選 9人	入選	91人
			特選 9人	入選	99人
祭	現代詩大会 10月28日(日) 広島県立美術館(広島市)	高一般 150人 小 中 78人	特選 8人	入選	19人
			特選 8人	入選	11人
川柳大会 11月11日(日) 大竹市総合市民会館(大竹市)	事前投句 858人 当日投句 128人	特選 8人	入選	222人	

(3) 地区大会

地区名	大 会 名 称	開 催 期 日	会 場
西 部	第12回佐北地区文化交流発表会	平成13年 9月16日(日)	古和村総合福祉センターすこやかホール
	第12回けんみん文化祭西部沿岸地区大会	平成14年 2月24日(日)	大竹市アゼリアホール
	第15回江能地区文化団体交流発表会	平成13年 6月24日(日)	鮎美町農村環境改善センター
瀬戸・東広島	第12回けんみん文化祭瀬戸・東広島地区大会	平成14年 3月10日(日)	東広島市中央公民館
真・安芸	第12回けんみん文化祭真・安芸地区大会	平成14年 2月17日(日)	熊野町民会館
山 県	第12回けんみん文化祭山県地区大会	平成13年12月 9日(日)	千代田町開発センター
高 田	第12回けんみん文化祭高田地区大会	平成13年12月 9日(日)	田園バッツオ(高宮町)
尾 道	第12回尾三教育事務所管内総合文化祭	平成13年12月 2日(日)	竹原市民館
		平成14年 1月20日(日)	しまなみ交流館(尾道市)
		平成14年 2月24日(日)	せら文化センター
福 山	第12回けんみん文化祭福山地区大会	平成14年 2月17日(日)	東医文化センターふくやま
備 北	第12回けんみん文化祭備北地区大会	平成14年 3月 3日(日)	庄原市民会館

